

福井県後期高齢者医療広域連合告示第11号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第243条の3第1項及び福井県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例（平成19年条例第19号）第3条第2項の規定に基づき、平成25年4月1日から平成25年9月30日までの財政状況及び平成24年度の決算の概況を、次のとおり公表する。

平成25年12月9日

福井県後期高齢者医療広域連合長 東村 新一

1 歳入歳出予算の執行の概況

(1) 平成25年度一般会計（平成25年9月30日現在）

【歳入】 (単位：千円、%)

区分（款）	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 分担金及び負担金	424,053	212,042	50.0%
2 国庫支出金	189	188	99.5%
4 繰越金	1	62,300	6230000.0%
5 諸収入	40	3	7.5%
合計	424,283	274,533	64.7%

【歳出】 (単位：千円、%)

区分（款）	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 議会費	1,494	40	2.7%
2 総務費	151,944	70,051	46.1%
3 民生費	268,844	0	0.0%
4 諸支出金	1	0	0.0%
5 予備費	2,000	0	0.0%
合計	424,283	70,091	16.5%

(2) 平成25年度後期高齢者医療特別会計（平成25年9月30日現在）

【歳入】

(単位:千円、%)

区分(款)	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 市町支出金	15,714,388	6,511,201	41.4%
2 国庫支出金	32,969,434	26,278,022	79.7%
3 県支出金	8,311,084	7,532,500	90.6%
4 支払基金交付金	41,210,182	15,078,763	36.6%
5 特別高額医療費共同事業交付金	18,256	0	0.0%
6 財産収入	2,225	567	25.5%
8 繰入金	1,942,605	0	0.0%
9 繰越金	1	1,404,405	140440500.0%
11 諸収入	5	98,158	1963160.0%
合計	100,168,180	56,903,616	56.8%

【歳出】

(単位:千円、%)

区分(款)	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 総務費	318,122	117,602	37.0%
2 保険給付費	99,497,337	41,707,526	41.9%
3 県財政安定化基金拠出金	87,929	0	0.0%
4 特別高額医療費共同事業拠出金	21,070	0	0.0%
5 保健事業費	199,753	0	0.0%
6 基金積立金	2,225	567	25.5%
7 公債費	1	0	0.0%
8 諸支出金	21,743	6,811	31.3%
9 予備費	20,000	0	0.0%
合計	100,168,180	41,832,506	41.8%

2 財産、地方債及び一時借入金の概況

(1) 財産

- ①公有財産 平成25年9月末現在所有なし
- ②基金 平成25年9月末現在高
 - 後期高齢者医療制度臨時特例基金 847,284,780円
 - 療養給付費等準備基金 2,627,969,683円

(2) 地方債 平成25年9月末現在借入なし

(3) 一時借入金 平成25年9月末現在借入なし

3 平成24年度決算の概況

(1) 一般会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

平成24年度における一般会計の歳入及び歳出の決算規模は、第1表の1及び第1表の2のとおりである。

(第1表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	533,687,170	491,834,963	41,852,207	8.5
歳出	471,387,545	449,029,917	22,357,628	5.0
差引	62,299,625	42,805,046	19,494,579	45.5

(第1表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	差引額 A-B	執行率 B/A
歳入	533,628,000	533,687,170	△59,170	100.0
歳出	533,628,000	471,387,545	62,240,455	88.3

平成24年度の決算額は、歳入5億3,368万7,170円、歳出4億7,138万7,545円で、歳入歳出差引額は6,229万9,625円となった。

この差引額については、受け入れすぎた市町負担金及び国庫補助金であるのでそれぞれ返還する。また、予算現額との差引額は、歳入で△5万9,170円、歳出で6,224万455円であった。

歳出の執行率が88.3%であった主な原因は、電算処理システム事業の委託料等により特別会計への繰出金に4,656万834円の不用額が生じたことに加え、職員の時間外勤務が見込みよりも少なくなったこと、人材派遣会社からの派遣職員を減員したこと等で、総務管理費に1,269万1,373円の不用額が生じたためである。

②歳入の状況

平成24年度の歳入決算額は、5億3,368万7,170円で、前年度決算額と比較して4,185万2,207円の増(第2表の1)となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、分担金及び負担金が4億9,060万5,112円、繰越金が4,280万5,046円となっている。

前年度決算額と比較して増となった主な要因としては、市町負担金が 3,590 万 5,898 円、前年度繰越金が 595 万 6,120 円の増額となったこと等によるものである。

(第 2 表の 1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 分担金及び負担金	490,605,112	92.0	454,699,214	35,905,898	7.9
2 国庫支出金	188,000	0.0	109,000	79,000	72.5
4 繰越金	42,805,046	8.0	36,848,926	5,956,120	16.2
5 諸収入	89,012	0.0	177,823	△ 88,811	△ 49.9
合 計	533,687,170	100.0	491,834,963	41,852,207	8.5

(第 2 表の 2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入未済額 B-C	予算現額と 決算額との 比較 C-A
1 分担金及び負担金	490,606,000	490,605,112	490,605,112	0	△ 888
2 国庫支出金	186,000	188,000	188,000	0	2,000
4 繰越金	42,806,000	42,805,046	42,805,046	0	△ 954
5 諸収入	30,000	89,012	89,012	0	59,012
合 計	533,628,000	533,687,170	533,687,170	0	59,170

③歳出の状況

平成 24 年度の歳出決算額は、4 億 7,138 万 7,545 円で、前年度決算額と比較して 2,235 万 7,628 円の増（第 3 表の 1）、不用額は 6,224 万 455 円（第 3 表の 2）となった。

歳出決算額の内訳をみると、議会費が 89 万 6,267 円、職員給与費をはじめとする広域連合運営経費の総務費が 1 億 4,746 万 1,066 円、特別会計への繰出金である民生費が 2 億 8,022 万 5,166 円、諸支出金が 4,280 万 5,046 円となっている。

前年度決算額と比較して増となった主な要因としては、特別会計への繰出金が 1,727 万 9,183 円、前年度決算剰余金を市町に返還するための償還金が 595 万 6,120 円増額したためである。

予算現額に対する執行率及び不用額は、議会費が 62.3%で 54 万 2,733 円、総務費が 92.1%で 1,273 万 4,934 円、民生費が 85.8%で 4,656 万 834 円、諸支出金が 100.0%で 954 円となっている。

また、予備費は執行しなかった。

(第3表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 議会費	896,267	0.2	1,219,518	△323,251	△26.5
2 総務費	147,461,066	31.3	148,015,490	△554,424	△0.4
3 民生費	280,225,166	59.4	262,945,983	17,279,183	6.6
4 諸支出金	42,805,046	9.1	36,848,926	5,956,120	16.2
5 予備費	0	0	0	0	—
合 計	471,387,545	100.0	449,029,917	22,357,628	5.0

(第3表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 議会費	1,439,000	896,267	542,733	62.3
2 総務費	160,196,000	147,461,066	12,734,934	92.1
3 民生費	326,786,000	280,225,166	46,560,834	85.8
4 諸支出金	42,806,000	42,805,046	954	100.0
5 予備費	2,401,000	0	2,401,000	0
合 計	533,628,000	471,387,545	62,240,455	88.3

(2) 後期高齢者医療特別会計決算の概要

①決算規模及び収支の状況

平成24年度における特別会計の歳入及び歳出の決算規模は、第4表の1及び第4表の2のとおりである。

(第4表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比率	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	96,675,756,030	94,186,898,495	2,488,857,535	2.6
歳出	95,271,351,178	93,284,107,688	1,987,243,490	2.1
差引	1,404,404,852	902,790,807	501,614,045	55.6

(第4表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	差引額 A-B	執行率 B/A
歳入	98,330,099,000	96,675,756,030	1,654,342,970	98.3
歳出	98,330,099,000	95,271,351,178	3,058,747,822	96.9

平成24年度の決算額は、歳入966億7,575万6,030円、歳出952億7,135万1,178円で、歳入歳出差引額は14億440万4,852円となった。

この差引額については、国、県及び市町の療養給付費負担金並びに社会保険診療報酬支払基金からの後期高齢者交付金の過不足を精算し、平成25年度にそれぞれに剰余金は返還、不足分は追加交付の受入れ及び療養給付費等準備基金の取り崩しにより調整することとする。

また、予算現額との差引額は、歳入で16億5,434万2,970円、歳出で30億5,874万7,822円であった。

歳入については、療養給付費の減に伴い、社会保険診療報酬支払基金からの後期高齢者交付金が減額されたこと、また、療養給付費等準備基金からの保険料抑制分の繰り入れが当初の見込みほど必要なかったことによるものである。

歳出については、療養給付費等に要する経費が当初の見込みを下回ったこと等によるものである。

②歳入の状況

平成24年度の歳入決算の総額は、966億7,575万6,030円で、前年度決算額と比較して24億8,885万7,535円の増(第5表の1)、予算現額と比較して16億5,434万2,970円の減(第5表の2)となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、市町支出金が153億5,158万1,123円、国庫支出金が324億1,725万1,269円、県支出金が78億5,197万9,438円、支払基金交付金が389億4,217万円、繰入金が9億9,695万9,215円、繰越金が9億279万807円となっている。

予算現額と比較して減となった主な要因は、前述のとおり、社会保険診療報酬支払基金からの交付金の減額、療養給付費等準備基金からの繰り入れが見込みよりも少なくなったことによるものである。

(第5表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

区 分	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 市町支出金	15,351,581,123	15.9	15,020,809,915	330,771,208	2.2
2 国庫支出金	32,417,251,269	33.5	31,058,113,656	1,359,137,613	4.4
3 県支出金	7,851,979,438	8.2	7,754,848,001	97,131,437	1.3
4 支払基金交付金	38,942,170,000	40.3	38,239,050,000	703,120,000	1.8
5 特別高額医療費 共同事業交付金	18,256,038	0.0	17,743,494	512,544	2.9
6 財産収入	2,234,122	0.0	1,722,886	511,236	29.7
8 繰入金	996,959,215	1.0	968,044,028	28,915,187	3.0
9 繰越金	902,790,807	0.9	949,438,555	△46,647,748	△4.9
1 1 諸収入	192,534,018	0.2	177,127,960	15,406,058	8.7
合 計	96,675,756,030	100.0	94,186,898,495	2,488,857,535	2.6

(第5表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入 未済額 B-C	予算現額と決算 額との比較 C-A
1 市町支出金	15,419,302,000	15,351,581,123	15,351,581,123	0	△67,720,877
2 国庫支出金	32,356,915,000	32,417,251,269	32,417,251,269	0	60,336,269
3 県支出金	7,978,681,000	7,851,979,438	7,851,979,438	0	△126,701,562
4 支払基金交付金	39,797,055,000	38,942,170,000	38,942,170,000	0	△854,885,000
5 特別高額医療費 共同事業交付金	18,000,000	18,256,038	18,256,038	0	256,038
6 財産収入	2,235,000	2,234,122	2,234,122	0	△878
8 繰入金	1,855,115,000	996,959,215	996,959,215	0	△858,155,785
9 繰越金	902,791,000	902,790,807	902,790,807	0	△193
1 1 諸収入	5,000	195,966,942	192,534,018	3,432,924	192,529,018
合 計	98,330,099,000	96,679,188,954	96,675,756,030	3,432,924	△1,654,342,970

③歳出の状況

平成24年度の歳出決算の総額は、952億7,135万1,178円で、前年度決算額と比

較して19億8,724万3,490円の増（第6表の1）、不用額は30億5,874万7,822円（第6表の2）となった。

歳出の決算額の内訳をみると、医療費通知や電算システム構築等業務委託料等の事務的経費として、総務費が3億3,139万4,781円、療養給付費や高額療養費、葬祭費、審査支払手数料等の保険給付費が931億6,122万5,045円、県財政安定化基金への広域連合負担分（負担割合3分の1）である拠出金が8,792万8,043円、市町が行う健康診査事業への補助金である保健事業費が1億5,245万9,297円、国からの円滑運営臨時特例交付金の基金積立金及び保険料剰余金を積み立てる療養給付費等準備基金積立金が5億8,204万976円、保険料還付金や国・県・市町等に対する償還金等の諸支出金が9億3,925万8,495円となっている。また、公債費及び予備費は執行しなかった。

予算現額に対する執行率及び不用額は、総務費が89.9%で3,728万7,219円、保険給付費が96.9%で29億3,513万5,955円、県財政安定化基金拠出金が100.0%で957円、特別高額医療費共同事業拠出金が94.7%で95万5,459円、保健事業費が74.4%で5,248万9,703円、基金積立金が100.0%で1,024円、諸支出金が98.6%で1,287万6,505円となっている。

保健事業費の執行率が低かったのは、健康診断の受診者が当初の見込みよりも減ったためである。

（第6表の1） 前年度決算額との比較

（単位：円、％）

区 分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比率	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 総務費	331,394,781	301,817,226	29,577,555	9.8
2 保険給付費	93,161,225,045	91,295,272,368	1,865,952,677	2.0
3 県財政安定化 基金拠出金	87,928,043	81,760,444	6,167,599	7.5
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	17,044,541	17,179,294	△134,753	△0.8
5 保健事業費	152,459,297	141,973,424	10,485,873	7.4
6 基金積立金	582,040,976	582,339,038	△298,062	△0.1
7 公債費	0	0	0	—
8 諸支出金	939,258,495	863,765,894	75,492,601	8.7
9 予備費	0	0	0	—
合 計	95,271,351,178	93,284,107,688	1,987,243,490	2.1

(第6表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区 分	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 総務費	368,682,000	331,394,781	37,287,219	89.9
2 保険給付費	96,096,361,000	93,161,225,045	2,935,135,955	96.9
3 県財政安定化 基金拠出金	87,929,000	87,928,043	957	100.0
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	18,000,000	17,044,541	955,459	94.7
5 保健事業費	204,949,000	152,459,297	52,489,703	74.4
6 基金積立金	582,042,000	582,040,976	1,024	100.0
7 公債費	1,000	0	1,000	0
8 諸支出金	952,135,000	939,258,495	12,876,505	98.6
9 予備費	20,000,000	0	20,000,000	0
合 計	98,330,099,000	95,271,351,178	3,058,747,822	96.9